

2021年度 第374回教育研究審議会議事要録

日時 2022年2月15日(火) 13:30~15:05
場所 遠隔会議 (Teams利用)
出席者 松尾学長、柳井副学長、龍副学長、二宮副学長、中尾副学長、中本事務局長
伊藤外国語学部長、浦野経済学部長、田島文学部長、田村法学部長、内田地域創生学群長、
上江洲国際環境工学部長、廣渡基盤教育センター長、重松法学研究科長、
八百社会システム研究科長、工藤マネジメント研究科長、下野学生部長、後藤教務部長、
狭間入試広報センター長、浅羽情報総合センター長、中武環境技術研究所長

配布資料

- 1 教員採用選考報告書 (国際教育交流センター)
- 2-1 特任教員の選考について (国際教育交流センター)
- 2-2 特任教員の選考について (社会システム研究科)
- 3 基盤教育センター副センター長 (語学教育担当) の選考について
- 4-1 学部規程等の改正について
- 4-2 社会システム研究科規程の一部改正について
- 4-3 北九州市立大学国際環境工学部・研究科規程の改正について
- 5 2022年度 北九州市立大学 国際環境工学部・研究科 学年暦 (案)
- 6 2021年度 学生表彰について
- 7 2022年度 研究不正防止計画 (案)
- 8 新学務システムの進捗状況および今後の計画について
- 9 非常勤講師の雇用制度について

第1号 教員の採用について

* 資料1のとおり、国際教育交流センターの言語学 (日本語教育) 担当教員人事について、選考委員会から採用候補者 (清藤隆春氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

○ 今回は実務家教員を含めずに募集を行ったが、今後国際教育交流センターで日本語教育担当の専任教員を募集する際は、実務家教員を含めることとする。日本語教育の特性を鑑み、実務経験を踏まえた採用をしたい。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

第2号 特任教員の選考について

* 資料2-1のとおり、国際教育交流センターの特任教員1名の選考について提案。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

* 資料2-2のとおり、社会システム研究科の特任教員4名の選考について提案。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

第3号 基盤教育センター副センター長 (語学教育担当) の選考について

* 資料3のとおり、基盤教育センター副センター長 (語学教育担当) の選考について提案。

- 基盤教育センターの葛西副センター長の辞任に伴い、永末康介准教授（基盤教育センター）を後任に選考するもの。なお、後任の副センター長の任期は、現副センター長の残任期間（2022年4月1日から2023年3月31日まで）とする。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 学部・研究科規程等の改正について

* 資料4-1のとおり、北方キャンパス各学部・学群における学部規程等の改正について提案。

- 基盤教育科目におけるAI・データサイエンス科目の新設、法学部政策科学科の専門教育科目における科目の新設に伴い、各学部・学群規程を改正するもの。あわせて、法改正に伴い、教職課程履修規程を改正するもの。
- AI・データサイエンス科目として新設する3科目について、カリキュラム・ツリー上、1年次科目の「データサイエンス入門」の発展的科目として、2年次科目の「社会を動かすデータ活用」と「社会で生きるAI技術」が位置付けられている。順次性を踏まえると、3科目のDPの重み付けが全く同じで良いのか。2年次配当の2科目については、「思考・判断・表現力」といったDP項目にも重み付けした方が良いのではないか。
- 当該科目は北方・ひびきの連携科目（メディア授業）であり、多くのデータサイエンス人材を育成するという観点から、できる限り多くの受講者を受け入れるため、遠隔授業で実施する必要がある。そのため、DPの「知識」と「技術」に重み付けした経緯がある。カリキュラム・ツリーとの整合性を考え、「社会を動かすデータ活用」と「社会で生きるAI技術」は、DPの「思考・判断・表現力」に△を追加する。
- AI・データサイエンス科目は、パソコンを使用して授業を行うことが想定される。現状のルールでは、パソコン教室の収容定員の問題から、科目等履修生が「コンピューター使用科目」を受講することはできないが、本科目も同様の取扱いになるのか。
- 今回新設するAI・データサイエンス科目については、各自でパソコン等の受講環境を準備するという条件で、科目等履修生の受講を認める。科目等履修生の募集要項には、その点を分かりやすく記載する。

【議長】一部資料修正のうえ、提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 資料4-2のとおり、社会システム研究科規程の改正について提案。

- 社会システム研究科の博士前期課程において、留学生対象に実施していた補習授業を、2022年度から正規科目化することとなったため、科目の新設に伴い研究科規程を改正するもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 資料4-3のとおり、国際環境工学部及び研究科規程の改正について提案。

- 学部については、成績評価における「F評価」の廃止、AI・データサイエンス科目の新設等に伴い、学部規程を改正するもの。なお、AI・データサイエンス科目については、北方キャンパスと同様に、カリキュラム・マップを修正することとする。
また、研究科については、博士前期課程及び博士後期課程における科目の新設に伴い、研究科規程を改正するもの。

【議長】一部資料修正のうえ、提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第5号 2022年度 学年暦について（ひびきのキャンパス）

※ 資料5のとおり、2022年度のひびきのキャンパスの学年暦について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第6号 2021年度 学生表彰について

※ 資料6のとおり、2021年度の学生表彰について提案。

- 学生表彰対象者として、個人・団体合わせて6件の表彰を提案するもの。なお、団体として表彰対象になっている田村慶子ゼミについては、参加した大会の順位など客観的な業績はないが、コロナ禍において学生が自主的に取り組み、英語で専門性の高い発表をしたことを高く評価した。
- 今までの学生表彰では、参加した大会の順位や受賞状況等の客観的な業績が求められてきた。今回のように表彰制度を柔軟化する動きは良いことだと思うので、今後は制度の柔軟化を見据え、公平性の担保という観点から、募集前に表彰基準について議論し同じ条件で募集をかける必要がある。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第7号 2022年度 研究不正防止計画（案）について

※ 資料7のとおり、2022年度の研究不正防止計画（案）について提案。

- 12月に実施した公的研究費内部監査の結果を踏まえ、「不正等の発生要因分析、及び対応する今年度の主な実施事項」に備品管理の徹底について追加する。（2-4追加）
また、「2022年度の実施スケジュール」に関して、文部科学省のガイドライン改正を踏まえ、四半期に1回、研究不正防止の啓発活動を実施することとする。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 新学務システムの進捗状況および今後の計画について
- ② 非常勤講師の雇用制度について
- ③ 第59回緊急対策本部会議の報告について（口頭）